

# かれあい 茨城

2020.9 Vol.112

## CONTENTS

- 1 協会事業 留学生親善大使 オンライン交流会
- 2-5 30年の歩み
- 6 交流の広場  
茨城県初の夜間中学がスタート  
～常総市立水海道中学校夜間学級の取り組み～  
Across Culture
- 7 県だより  
支援機関の連携強化による県内企業の海外展開促進  
～いばらき海外展開総合支援窓口開設!～
- 7-8 For You お知らせ

コロナに負けず、がんばりましょう!

## 茨城県留学生親善大使 オンライン交流会を開催しました

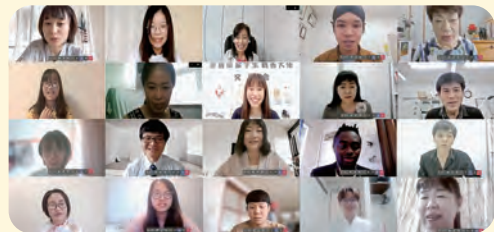


茨城県国際交流協会では、国際交流活動に意欲のある県内の留学生を「茨城県留学生親善大使」として任命し、「ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業」による母国紹介を通じた国際理解の推進や、海外に向けた茨城の魅力PRなどをご協力をいただいています。

例年、留学生や学校関係者などが一堂に会した任命式を開催してきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大のためやむを得ず中止し、任命式に代わるオンラインイベントを7月11日(土)に新任大使を中心に開催しました。留学生の皆さんは民族衣装を着て参加してくださり、画面を通じた自己紹介、親善大使活動についての説明、先輩親善大使によるワールドキャラバン事例発表、各国語の早口言葉やじゃんけんなどの交流ゲームを行いました。インドネシア、中国、ベトナムなどの早口言葉は、上手く言えなくて盛り上がりました。

参加者の皆さんからは「直接会えなくて残念ですが、オンラインでも話せてよかった」、「事例発表がとてもよく仕上がっていてお手本としてわかりやすかった」、「今後の活動が楽しみ」などの感想を聞くことができました。一日も早く事態が収束し、母国で待機中の留学生も来日できるようになり、人々の自由な交流が再開されることを祈っています。

なお、今年度は、交流会日時点で9の国と地域出身の44名の留学生が親善大使として活動する予定です。親善大使は通年で応募を受け付けています。





インドネシア式のじゃんけん





当日の部屋の様子

### 声に出して言ってみよう! 世界の早口言葉

 shí sì shí sì sì, sì shí sì sì shí  
十四是十四, 四十是四十  
中国 (意味: 14は14, 40は40)

 chī pú táo bù tǔ pú táo pí  
吃葡萄不吐葡萄皮  
中国 (意味: ぶどうの皮を吐き出さずにぶどうを食べる)

 カタ カケク クク カキ カカク カク  
Kata kakekku kuku kaki kakakku kaku.  
インドネシア (意味: 私のおいしいちゃんによると、私の兄の足の爪は固い)

 ブオイ チュア アン ブオイ チュア  
Buổi trưa ăn bưởi chua  
ベトナム (意味: お昼にすっぱいグレープフルーツを食べる)

学校教育や生涯学習の場で、留学生親善大使や、海外文化や料理などを紹介できる各国事情紹介講師と、楽しく交流して身近に国際理解を深めてみませんか。興味ある学校・団体を募集しておりますので、当協会までお気軽にお問合せください。詳細は当協会ホームページにも掲載しています。  
(<https://www.ia-ibarak.or.jp/kokusai/rikai/caravan/index.html>)  
講師に関する情報は「多文化共生サポーターバンク」で検索できます。  
([https://www.ia-ibarak.or.jp/s\\_bank/index.htm](https://www.ia-ibarak.or.jp/s_bank/index.htm))

多文化共生サポーターバンクホームページQRコード



### 新型コロナウイルス感染拡大に関して

生命に関わるウイルスの世界的な感染拡大という未曾有の事態が起きました。罹患された皆さま、生活に影響を受けている皆さまに心からお見舞い申し上げます。さて、地域の国際交流イベントの中止や日本語ボランティア教室の休講など、多文化共生社会の推進にも甚大な影響が出ています。当協会の事業運営については、参加者の健康を第一に考え、やむを得ず中止する場合や、感染防止対策を講じて例年とは異なる形で実施する場合がございます。ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

# 30年の歩み



ご挨拶

理事長 鈴木 哲也

茨城県国際交流協会は、このたび、お蔭をもちまして設立30周年を迎えることができました。

当協会は、1990年10月1日の設立以来、県民が主体となり活動する国際交流及び国際協力の拠点として、文化、スポーツ、人材育成等の幅広い分野における活動を通して、世界各国の人々との相互理解及び友好親善を促進してまいりました。

この間、茨城県の在留外国人数は、2019年12月末現在71,125人にまで増加し、全国で10番目に外国人住民の多い県となっております。それに伴い、県内では様々な国際活動実践団体が活発に国際交流協力活動を実施しております。

国では、「外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策」(2018年12月25日決定)を取りまとめ、在留資格を有する全ての外国人を社会の一員として受け入れ、外国人との共生社会を実現するために必要な施策を進めております。

2019年4月から、新たな外国人材の受け入れ制度である在留資格「特定技能」が開始され、今後も在留外国人の増加が見込まれる中で、外国人を日本社会の一員として受け入れ、外国人が社会から孤立しないようにすることが極めて重要であります。

当協会としましては、関係団体の皆様のご協力をいただきながら、多文化共生社会づくりに取り組むとともに、国際感覚豊かな人材の育成に引き続き努めてまいりたいと考えておりますので、今後ともなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 1990年度

- 協会設立(10月1日)・設立記念講演会(11月1日)
- 地域国際化協会認定(2月26日)
- 機関誌「ふれあい茨城」の発行開始
- インターナショナルライブラリーの開始
- 外国人による日本語スピーチコンテストの開始
- 留学生対象に国際協力員の委嘱開始(～02)
- 留学生支援バザーへの協力(～95)
- ふるさと国際電話の開設(～01)



財団法人茨城県国際交流協会設立記念講演会(1990年度)



ふるさと国際電話(1990～2001年度)

## 1991年度

- 民間団体国際交流ネットワーク会議の開始
- 民間団体等のリーディング事業助成金の交付開始
- 語学・ホームステイ等の国際交流ボランティアの登録開始(～96)
- 国際交流フェスティバル「国際交流ひろば」の開始(～08)
- 国際交流スキーツアーの開始(～97)
- 各国語講座の開始(～01)
- 青少年海外派遣事業(高校生の海外留学)(～93)
- 海外研修ツアーの実施(姉妹県等への研修派遣)(～99)
- 協会シンボルマークの決定



日本語スピーチコンテスト(1990年度～)



## 1992年度

- 土曜サロンの開始(～01)

## 1993年度

- 生け花・茶道教室(97～つくば支所)の開始(～06)
- 外国人生活相談(96～外国人相談センター)の開始
- 日本語養成ボランティア講座の開始(～02)

## 1994年度

- オーストラリアへの中学生世界体験ツアーの開始(～02)
- 海外技術研修員日本語研修開始

## 設立30周年によせて

国際ロータリー第2820地区

ガバナー 池田 正純

公益財団法人茨城県国際交流協会様におかれましては設立30周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。平成2年設立以来、国際間の交流や理解の推進にご努力をされまして、それぞれの国との架け橋になっていただいたこと、誠に有意義であったと思っております。これからもよりグローバル化が進む中、交流事業に一層のご尽力をお願い致しましてお祝いの言葉とさせていただきます。

茨城県営業戦略部国際渉外チーム

チームリーダー 石寺 真

設立30周年おめでとうございます。設立以来、貴協会は本県における国際交流や国際協力、多文化共生社会づくりの推進などに貢献されてきました。今後も本県における国際交流組織の中核的・先導的な立場から、生活者としての外国人に対する支援など、時代のニーズに合わせた役割を担っていただくことを期待しています。



国際交流ネットワーク会議  
(1991年度～)



国際交流フェスティバル「国際交流ひろば」  
(1991～2008年度)



土曜サロン(1992～2001年度)



つくば支所 生け花・茶道教室  
(1993～2006年度)



外国人相談センター開始  
(1993年度～)



休日無料弁護士相談  
(1996年度～)



ワールドキャラバン  
(国際理解教育講師等派遣事業)  
(1999年度～)



設立10周年記念事業  
「こどもテレビ国際フォーラム」  
(2000年度)



### 1995年度

事務所を現在地に移転(4月1日)  
創立5周年記念事業(記念講演会)

### 1996年度

上海事務所設置(11月27日)  
サロン内にインターネットコーナーを設置(～15)  
国際協力市民講座開始(～08)  
休日無料弁護士相談の開始  
外国人医療協力者リストの作成  
メディカルハンドブックの作成

### 1997年度

つくば支所設置(4月1日)(～06)  
つくば支所外国人住民等との懇談会開始(～00)  
つくば支所日本語講座開始(～06)  
つくば支所交流サロン開始(～06)  
日本文化体験ツアー開始(つくば支所～02)  
特定公益増進法人認定(5月9日)  
土浦国際交流情報センター設置(10月1日)(～09)  
ホームページでの協会情報発信開始  
市町村協会活動支援(～99)  
日本語教室ガイドマップの作成  
国際交流人材バンクの登録開始(語学・ホームステイ・各国事情紹介)  
高校生のための地球市民講座開始(～09)(13～)  
海外災害時の義援金援助開始  
日本語ボランティアネットワーク会議開始  
日本語教室教材支援の開始

### 1998年度

国際協力プラザコーナーの設置  
国際交流員のふるさとを訪問する青年国際研修の開始(～00)  
高校生とJET青年の国際交流船上セミナー開始(～02)  
フィリピンへのスタディツアー開始(～02)  
国際結婚に係るシンポジウム「共に生きるアジア」の開催

### 1999年度

三の丸庁舎売店設置(1月11日)・フェアトレードショップ併設(～09)  
ワールドキャラバン(国際理解教育講師等派遣事業)開始  
茨城県国際理解教育推進協議会の設立  
留学相談会の開始(～01)

### 2000年度

つくば支所ボランティア団体との懇談会(～01)  
ワールドボックス設置(世界の民芸品や民族衣装等の収集・貸し出し)  
国際協力ガイドブック「国際ボランティアへの道」作成  
設立10周年記念事業「こどもテレビ国際フォーラム」の実施

(敬称略、50音順)

## 守谷市国際交流協会

会長 小川 一成

30年は経ってみるとあっと言う間の時間ですね。守谷市国際交流協会も2年前に30周年を迎えましたが草創期を想うに、よくぞここまでの感慨ひとしおです。茨城県国際交流協会が今日まで果たしてきた役割の大きさに改めて敬意を表するとともに今後のご発展をご祈念いたします。祝・30周年。

## 国際交流ボランティアばらの会

久下沼 美枝子

25年前 事業ボランティアに登録し、10ヶ国あまりのめずらしい国からの海外技術研修員を家族ぐるみでサポートしスピーチコンテストボランティアや毎週開かれていた土曜サロンで海外出身者との交流を楽しみました。現在は貴協会での経験を生かして常陸大宮市の国際交流協会やばらの会で活動しています。今後の貴協会の発展を祈念致します。

## 茨城県常総市市長公室

公室長 小林 昭仁

設立30周年おめでとうございます。貴協会には、ネットワーク会議における関係団体との対話の場やHPでの情報発信など、毎年多くを学ばせていただき感謝いたしております。外国人比率県内トップの自治体として、共に連携しながら、より一層多文化共生を推進していきましょう。貴協会のさらなる発展をご祈念申し上げます。

## 各国事情紹介講師

セイイドエbrahim マスクートキャスマイ

茨城県国際交流協会設立30周年おめでとうございます。ワールドキャラバンで日本の皆さんにイランを紹介する機会を得たことはとても喜ばしく、私の生活の欠かせない一部となっています。ワールドキャラバンを通して日本をはじめ、色々な国の人々とのつながりを感じています。協会の皆さんこれからも宜しくお願いします。

## 2001年度

義援金援助団体活動報告会の実施  
外国人医療協力者リストの作成

## 2002年度

大好きいばらさふれあいまつりに参加開始  
小中学生とALTのサタデーインターナショナルクラブの実施  
外国青年招へい事業の開始(～03)

## 2003年度

英語による欧米文化セミナー開始  
日本語教育アドバイザー登録派遣事業開始  
留学生親善大使の任命  
留学生やJET青年を対象とした茨城ふるさとファミリー事業の開始  
クエスト茨城留学生研修の開始  
各国事情紹介ボランティア研修会の開始  
カンボジアへのスタディツアー開始(～07)

## 2004年度

国際交流人材検索システム(07～多文化共生サポーターバンク)運用開始  
通訳ガイド講座実施  
国際理解青年のメッセージ留学生シンポジウム事業開始  
外国人医療協力者リストの作成

## 2005年度

設立15周年記念事業  
多文化共生地域づくり促進事業開始(～09)  
医療通訳研修会の開催開始

## 2006年度

国際活動推進計画(中期計画)策定  
外国人相談センターでスペイン語相談開始(6カ国語へ拡大)

## 2007年度

インターネットによる多言語情報提供開始  
多文化共生サポーターバンク開設  
茨城県総合防災訓練への参加開始  
ブラジル人学校日本語教育支援事業の実施(～08)

## 2008年度

国民文化祭にて「多文化共生国際交流ひろば」開設  
外国人相談センターで韓国語相談開始(7カ国語へ拡大)

## 2009年度

国際活動推進計画(中期計画)策定  
多文化共生フォトコンテスト開催(09)  
外国人相談センターでインドネシア語相談開始(8カ国語へ拡大)

## 2010年度

設立20周年記念事業  
東日本大震災対応のため、「災害多言語支援センター茨城」を設置(3月)



留学生親善大使の任命(2003年度～)



茨城ふるさとファミリー事業(2003年度～)



クエスト茨城留学生研修(2003年度～)



カンボジアへのスタディツアー(2003～2007年度)



国際理解青年のメッセージ留学生シンポジウム事業(2004年度～)



医療通訳サポーター研修会(2005年度～)



茨城県総合防災訓練への参加(2007年度～)

## 設立30周年によせて

茨城県留学生親善大使

張 曉雯

日本の文化を知り、自国の漢文化を発信したいと思い、親善大使を志しました。ワールドキャラバンで子ども達と一緒に笑顔で互いの文化を受け入れたり、研修バスツアーで茨城県の魅力を感じたり、ふるさとファミリーで日本家庭の温かさに触れることができました。今後も、茨城県国際交流協会様が発展されることを祈ります。

関彰商事株式会社勤務

(元茨城県国際交流員)

デビノ ルドヴィク

30周年おめでとうございます。長年にわたる、地球人同士を結びつける事業の実施のおかげで、茨城県国際交流協会は平和な世界への道づくりに重要な貢献を果たしました。国々が閉ざされている現在の世界で、今こそ協会は世界へ開いた欠くことのできない小窓です。これからも協会の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

鹿嶋国際交流JCサークル

会長 西野 節美

設立30周年おめでとうございます。県国際交流協会が企画して下さったプロジェクトに参加し、多くのことを学ばせて頂き本当に感謝しております。昨今情報の流れは地球的規模に拡大し、今まで以上に広い価値観と深い理解力が求められるようになりました。

貴協会には、今後益々中心的な役割を担って頂くことを期待しています。

一般財団法人

つくば市国際交流協会

理事長 布浦 万代

創立30周年、お目出度うございます。長きに亘り理事の席を頂き今日に至っております。顧みすれば「ワールドキャラバン」の立ち上げ事業に宿泊して議論したこと、「第9回外国人による日本語スピーチコンテスト」は新設した筑波国際会議場で開催され、その折、司会を務めたこと等々…。岩本郁子前事務局長をはじめ、理事の皆様方との思い出は尽きません。



多言語生活ガイドブック、メディカルハンドブック



災害時マニュアル



設立25周年記念事業  
「ホワイトホースシアター Dreaming in English」  
(2015年度)



上海へのスタディツアー(2015年度～)



インスタグラム・フォトコンテスト(2017年度)



通訳ガイドボランティア育成講座  
(2017～2019年度)



多言語生活情報リンク集の開設(2019年度)

2011年度

東日本大震災後の外国人支援のため「多言語インフォメーションセンター」を開設(～12)  
携帯メールによる多言語情報提供事業開始

2012年度

新公益法人制度に基づき、公益財団法人に移行(4月1日)  
多言語生活ガイドブック、災害時マニュアルの改訂・発行  
外国人のための地域生活アドバイザーの育成事業(12)  
国際活動推進計画(中期計画)策定

2013年度

フィリピン・台風30号被災者緊急支援義援金の募集

2014年度

外国人の子どものための日本語学習の支援(14)  
外国人親子のための高校進学ガイダンス(14)  
外国籍児童生徒の健康づくり支援事業(14)

2015年度

外国人相談センターでベトナム語相談開始(9カ国語へ拡大)  
ネパール大地震被災者緊急支援義援金の募集  
平成27年9月関東・東北豪雨被害への対応  
設立25周年記念事業  
市町村国際交流協会等市町村国際交流推進組織対象研修・  
情報交換会の実施  
中国・上海へのスタディツアー開始

2016年度

「いばらきインターナショナルアンバサダー」の創設  
通訳・翻訳ボランティア研修会の実施  
留学生と県内企業のマッチング支援(～17)

2017年度

インスタグラムフォトコンテストの実施(17)  
通訳ガイドボランティア育成講座  
(東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業)の実施(～19)

2018年度

インドネシア・スラウェシ島地震被災者緊急支援義援金の募集  
ワールドキャラバン活動20周年(への約18万人参加)

2019年度

外国人相談センターの相談体制拡充及び情報通信環境の整備  
G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合参加各国との交流プログラム事業(19)  
新型コロナウイルス感染症に関する情報提供  
多言語生活情報リンク集の開設

2020年度

地域日本語教育の体制づくり事業の開始  
新型コロナウイルス対策のため一部事業をオンラインで実施

(敬称略、50音順)

公益財団法人  
茨城県国際交流協会  
前理事長 細谷 茂治

協会は様々な課題に対応し、本県の国際交流の促進に大きな役割を果たしてきました。私も短い期間でしたが、協会の業務に携われたことに感謝しています。今は何と言っても、新型コロナウイルスへの対応だと思います。この困難を30年間培ってきたノウハウと皆さんの熱意で乗り切り、更に飛躍されることをお祈りします。

公益財団法人  
茨城県国際交流協会  
職員OB 益子 隆明

茨城県国際交流協会設立30周年おめでとうございます。OBとしての知識と経験を生かし、現在は那珂市で国際交流を担当させていただいております。今後も地域の国際交流の発展に貢献できるように、頑張ってまいりますので、引き続きご支援、ご協力の程、よろしく願いいたします。

日立さくら日本語学校  
校長・教務コーディネーター 松浦 みゆき

30周年おめでとうございます。普段は日本語学校で日本語教師をしている私ですが、県協会の日本語教育アドバイザーとして地域とのつながりを持つことで、多くの気づきと学びの機会をいただいています。また、私の教え子たちも地域社会との交流を通して大きく成長させていただいていることにも心より感謝申し上げます。一人でも多くの外国人が「日本(茨城)に来てよかった」と言ってくれるように、今後とも県の多文化共生の要として、私共をお導きいただければ幸いです。

独立行政法人  
国際協力機構筑波センター  
所長 渡邊 健

茨城県国際交流協会設立30周年おめでとうございます。地域に外国の方が増えており、多文化共生社会の構築が急務となるなか、茨城の国際化を支える貴協会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

# 茨城県初の夜間中学がスタート ～常総市立水海道中学校夜間学級の取り組み～

常総市立水海道中学校夜間学級 教頭 石塚 邦彦

今年度、全国で34校目、そして茨城県初の夜間中学として、常総市に水海道中学校夜間学級が設置されました。夜間中学は、公立の中学校として、様々な事情により義務教育を十分に受けられなかった人、外国人居住者で日本の義務教育に相当する教育を受けられなかった人等が中学校での学び直しをするための学校です。6月には、新型コロナウイルス感染症の影響で遅れていた開級式並びに入学式が実施され、19名の生徒と12名の教員でスタートを切ることができました。

夜間中学に在籍している19名の生徒は、国籍が、日本6名、ブラジル9名、ペルー2名、フィリピン1名、ネパール1名で、年齢も10代から70代と幅広く、日本語の読み書きや会話が不十分な生徒も在籍しています。日本語の授業では、習熟度に応じて3つのコースを編成して指導するとともに、全ての教科で、複数の教員を配置したティームティーチングにより、生徒一人一人に対応した授業を行っています。

本校は「夢を応援する学校」として、不登校を経験し

た生徒や働きながらまたは子育てをしながら学校に通う生徒たちに対して、多様な国籍や年齢構成、職業をいかに、お互いの立場や文化を尊重することにより自己有用感を育む教育を実践しています。

今後も新型コロナウイルス感染症の影響で、予定されていた校外学習や昼間部生徒との交流等、多くが中止または制限されることが予想されますが、生徒の健康と安全の確保、そして安心して学べる環境づくりを教職員一丸となって進めていきたいと思っています。



開級式・入学式



夜間学級での授業

## 交流の広場

ここが違って、おもしろい!

### Across culture



インドネシア

レギナ フランシスカ  
ジャンコブス  
(インドネシア共和国出身)

#### ●インドネシアってどんな国?

インドネシアは、世界で一番多くの島が集まって出来た国です。16,056の大小の島によって構成されています。離島同士が集まった国なので、その地域ならではの方言が公用語のインドネシア語と全然違う事もあります。

私が育ったサンギへ諸島はインドネシア東部の北スラウェシ島にあります。島の94%が海に面していて、自然豊かで漁業資源も多く、島独特の食べ物「サグ」や、「辛く蒸した魚」という意味がある「イカンウォク」が有名です。

#### ●日本へ来たきっかけは?

私は日本人で、日本人のおじいちゃんの墓参りに来たのがきっかけです。祖父は福岡県出身で、第二次世界大戦中、植民地の管理のためサンギへ諸島に来ました。福岡にいる日本人だった祖父の親戚のおかげで大洗に居住許可を得る事ができて、現在は「かあちゃんの店」で働いています。

#### ●インドネシアと日本のここが違って、おもしろい!

日本には四季があります。私は花が好きで、季節ごとに咲く

花がそれぞれ違う顔を見せるところに魅力を感じました。花だけでなく、服装、旬の食べ物、打ち水などの季節の変化を快適に暮らす知恵が色々あって面白いと思いました。

また、大洗町の漁業の女性がパワフルですごいと思います。市場で船の仕事を手伝ったり、船が港に着いたら、とれた魚を売するための倉庫に運んだりする仕事やトラックの運転もします。私の出身地サンギへ諸島では漁業が盛んですが、主に男性の仕事で、女性はただ魚を売るくらいで、あまり大きな役割を担っていません。ですから、パワフルな大洗の女性の姿を見て感動しました。

#### ●あなたの将来の目標について教えてください。

「かあちゃんの店」の女性たちの強さや繋がり、いつも元気に活動するパワー。そのたくましく働く姿に圧倒されました。私は彼女たちを尊敬します。そして、彼女たちの働く姿を故郷に広めたいです。



かあちゃんの店の前で



水戸市千波公園にて

## 支援機関の連携強化による県内企業の海外展開促進 ～いばらき海外展開総合支援窓口開設！～

茨城県グローバルビジネス支援チーム  
主事 石黒 誠也

令和2年7月1日、茨城県が出資する公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構（以下“機構”）と、独立行政法人日本貿易振興機構茨城貿易情報センター（以下“ジェトロ茨城”）が、海外展開支援を強化するため、茨城県水戸合同庁舎4階に合同オフィスを設置し、「いばらき海外展開総合支援窓口」を開設しました。

機構は、茨城県中小企業振興公社の事業を引き継ぎ、さらにグローバル支援機能を強化する形で本年4月に設立され、長年の支援実績から得た県内中小企業との幅広いネットワークを活かし、市場ニーズを踏まえて多数の企業が海外にチャレンジできるよう様々な事業展開を目指しています。

ジェトロ茨城は世界76か所（R2年8月現在）のジェトロ海外事務所と連携し、県産品輸出や対日投資、県内企業の海外進出など、世界に広がるネットワークを活かした様々な支援を行っています。

今回、両機関が合同オフィスを構え、県内中小企業及び世界各国とのネットワークという、互いの強みを持ち寄ることにより、輸出の企画段階から成約まで県内企業に対するワンストップの一貫した支援が可能になりました。

茨城県としても両機関との連携強化を図りながら、輸出向け県産品紹介サイト「IBARAKI EXPORTS」を活用した営業活動や海外展開支援策集の作成により海外展開に意欲のある事業者の支援を進めてまいります。また、特に今年度は新型コロナウイルスの影響により、対面での商談等が難しいことから、海外ECサイトの活用やオンライン商談支援等の新たな取組も予定しています。

海外展開に関心をお持ちの企業の皆様、「いばらき海外展開総合支援窓口」や各種支援策をぜひご活用ください！



R2.7.8 いばらき海外展開総合支援窓口開所式の様子



県産品紹介サイト  
（IBARAKI EXPORTS）

## 潮来RCから寄付をいただきました

1969年に設立された潮来ロータリークラブ（室谷洋三会長）は、これまで様々な奉仕活動を行ってまいりましたが、会員数の減少などから6月に解散されました。

最後の奉仕として、地域のために何かできればと協議され、7月27日、国際ロータリー第2820地区の池田正純ガバナーを通じ、当協会に10万円を寄付されました。

国際交流のために役立ててほしいとのご意向に沿って大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



（左が池田ガバナー）

## 職員紹介

### 山田 彩

はじめまして。4月より交流推進課にて勤務しております山田と申します。元々は愛知県出身で、ニュージーランドへの留学、都内への進学と商社勤務を経て、結婚を機に茨城県に移住して参りました。

茨城は気候も人も穏やかで、魅力に溢れた所だと感じています。国際交流を通じて、外国人の皆さんにはその魅力を感じて頂き、県民の皆さんには改めて地元を好きになってもらうきっかけにして頂ければと願っています。自由で闊達な交流が難しい状況ではありますが、やれることを一つ一つ精一杯取り組みますので、どうぞ宜しくお願い致します。





## 外国人児童・生徒に対する日本語教育支援者向け養成講座の受講者を募集します！

近年、県内で日本語が理解できない外国人児童・生徒が増加していることから、日本語がわからない子どもたちへ日本語を教える際に必要な知識や技術などについて研修を行います。

### 日時・内容

- 第1回…令和2年11月26日(木) 13:30～16:30  
「外国人児童・生徒に対する日本語指導の背景」
- 第2回…令和2年12月3日(木) 13:30～16:30  
「外国人児童・生徒に対する日本語指導の内容について」
- 第3回…令和2年12月10日(木) 13:30～16:30  
「外国人児童・生徒に対する日本語指導の教材について」

**場 所** ザ・ヒロサワ・シティ会館分館 集会室10号  
(水戸市千波町後川745)

**対 象** 県内日本語ボランティア教室で日本語を教えている方  
および今後日本語教育ボランティア活動が見込める方

**受講料** 無料

**申込方法** 申込書記入後協会に提出 (FAX、メール、郵送等)  
令和2年11月2日(月)必着  
(申込書は協会HPよりダウンロード可能)

**問 合 せ** 詳細は当協会(担当：中根)まで

## 第30回外国人による日本語スピーチコンテスト発表者を募集します！

令和3年2月13日(土) 13:00～16:30(予定)、ザ・ヒロサワ・シティ会館小ホールにて開催する「第30回外国人による日本語スピーチコンテスト」の外国人発表者を募集します。県内で生活している外国人の皆さんが、日頃考えていることや、日本・茨城の印象、母国の話など国際理解を深めるテーマについて発表できる絶好のチャンスです。今年度はオンラインによる配信も予定しております。出場者全員に豪華賞品を用意していますので、たくさんの方々のご応募をお待ちしております。(応募方法や締切など詳細は10月以降に協会ホームページに掲載予定です)



## 賛助会員を募集しています！

当協会では、茨城県に在住する外国人の皆様が安心して生活できるよう、多言語による相談事業や情報提供などを実施し、外国人の皆様にも住みよい地域づくりに努めています。また、より多くの県民の皆様が外国の方々と交流し相互理解を深める機会を提供するために、留学生や在住外国人の方々、交流団体の皆様と連携し、様々な交流事業も展開しています。

皆様からのご支援のもと、さらに充実した活動を続けて参りたいと存じますので、賛助会員へご加入いただき、お力添えください。

会員になると、機関紙「ふれあい茨城」の送付、各種イベント等情報の提供、協会施設の優先利用、提携旅行社の割引などの特典があります。

また、賛助会員は、公益法人への寄付として申告により所得税や法人税の優遇措置の適用を受けることができます。

皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



賛助会費	団体会員	1口 10,000円/年
	個人会員	1口 3,000円/年

※賛助会特典、税金の優遇措置の詳細については、当協会HPをご覧ください。

### ●令和2年度 団体賛助会員(令和2年7月末現在)

- |  |  |  |
|--|--|--|
| 石岡商工会議所<br>「茨城アジア教育基金」を支える会<br>いばらき印刷 株式会社<br>一般社団法人 茨城県医師会<br>公益財団法人 茨城県開発公社<br>茨城県火災共済協同組合<br>一般財団法人 茨城県環境保全事業団<br>茨城県行政書士会<br>一般社団法人 茨城県経営者協会<br>一般財団法人<br>茨城県建設技術管理センター<br>一般財団法人 茨城県建設技術公社<br>茨城県市長会<br>社会福祉法人<br>茨城県社会福祉協議会<br>茨城県商工会議所連合会<br>茨城県商工会連合会<br>茨城県女性のつばさ連絡会<br>茨城県信用組合<br>茨城県信用保証協会<br>茨城県青年海外協力隊を育てる会<br>茨城県世界青少年コミュニ<br>ケーションクラブ(WYCCI)<br>公益財団法人 茨城県総合健診協会<br>茨城県中小企業団体中央会<br>茨城県町村会<br>茨城県日中友好協会<br>公益社団法人 茨城県薬剤師会 | 株式会社 茨城ポートオーソリティ<br>鹿嶋国際交流JCサークル<br>鹿嶋都市開発 株式会社<br>鹿嶋埠頭 株式会社<br>鹿嶋臨海通運 株式会社<br>鹿嶋臨海鉄道 株式会社<br>茨城県国際交流協会<br>韓国語上級講座<br>北茨城国際交流会<br>株式会社 光和印刷<br>古河市国際交流協会<br>国際ソロプチミストつくば<br>コスモエコー<br>コトブキ印刷 株式会社<br>JA茨城県中央会<br>株式会社JTB<br>下館商工会議所<br>株式会社 常陽銀行<br>常陽ビジネスサービス 株式会社<br>常陽保険サービス 株式会社<br>昭和建設株式会社<br>株式会社 セイキョウ<br>開彰商事 株式会社<br>センター印刷 株式会社<br>株式会社 高野高速印刷<br>筑西市国際友好協会<br>チヨツ サラン<br>株式会社 筑波銀行 | 株式会社 つくば研究支援センター<br>電機連合茨城地方協議会<br>那珂市国際交流協会<br>日本原子力発電 株式会社<br>東海事業本部 地域共生部<br>日本語学校つくばスマイル<br>日本労働組合総連合会 茨城県連合会<br>ネパール子ども奨学支援会<br>ハンブルク初級教室<br>ハン サラン<br>常陸大宮市国際交流協会<br>日立商工会議所<br>株式会社 ひたちなかテクノセンター<br>ビバ エル エスバニョール<br>広沢商事 株式会社<br>ふじの会<br>フレンドリーあんず<br>フレンドリージャパンワールド<br>水戸内原国際交流ふれあいの会<br>水戸商工会議所<br>水戸信用金庫<br>水戸エネコ協会の<br>メックス株式会社<br>メサフレンドシップ<br>株式会社 めぶきリース<br>ラプニール<br>ワタヒキ印刷 株式会社<br>他1社 計80団体 |
|--|--|--|

皆様のご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

## 「外国人のための電話・ビデオ通話による休日無料弁護士相談」のお知らせ

外国人を対象にした休日無料弁護士相談を開催いたします。今回は電話またはビデオ通話による相談となります。

**日 時** 令和2年10月4日(日)、11日(日)  
10:00～15:00(受付は14:30まで)

**相談方法** ・電話 029-244-3811  
・ビデオ通話 LINE、Skype、Messengerにて対応  
※ビデオ通話相談は事前に①名前、②言語、③使用する通話ツールをメールで連絡してください。  
(E-mail : iia\_consul@ia-ibaraki.or.jp)

**相談内容** 在留資格、労働問題、結婚、税金、保険、その他生活全般  
※相談無料、秘密厳守、通訳付き

**対応言語** 日本語、英語、中国語、タイ語、タガログ語、ポルトガル語、韓国語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語



**問合せ先** (公財)茨城県国際交流協会 外国人相談センター  
TEL : 029-244-3811 FAX : 029-241-7611  
E-mail : iia\_consul@ia-ibaraki.or.jp

